

第12回 日中韓経済貿易大臣会合共同声明（仮訳）

2019年12月22日 中国・北京

我々、日本、中華人民共和国及び大韓民国の経済・貿易大臣は、2019年12月22日、中国・北京において第12回日中韓経済貿易大臣会合を開催した。

我々は、東アジアの主要経済国として、三カ国の協力が地域・世界経済の成長、繁栄及び安定を維持するために重要な役割を果たしていると考えます。世界経済の下方リスクや増大する貿易と地政を巡る緊張といった困難に直面する中で、地域の経済統合や持続可能な発展に貢献するために、三カ国の産業相互補完性を十分に活用し、貿易・投資の協力レベルを高めるべきであるという考えを我々は共有しました。我々は、開放的で包摂的な世界経済を構築し、開放性があり、自由、公平、無差別で、包摂性、透明性があり、予測可能でルールに基づく多国間貿易システムを維持・強化するために必要なWTO改革を支援していくことを再確認すると再度強調しました。また、我々はあらゆる形態の保護主義に反対することを再確認しました。ビジネスを可能とする環境を醸成するため、公平な競争条件を確保することの重要性も再確認しました。さらに、我々は、2020年に開催される第12回WTO閣僚会議（MC12）の成功に向けて、引き続き電子商交渉や投資円滑化といった様々な分野において、他国とともに取り組んでいく。

我々は、2019年に発表されたRCEPに関する共同首脳声明におけるコミットメントを再確認する。またRCEP交渉に基づいて、独自の価値を有する、包括的で質の高い互恵的な日中韓FTAの実現に向けて交渉を加速させていく。2018年の第7回日中韓サミットの共同声明における合意を履行すべく、日中韓FTA交渉を加速するよう事務方に指示する。またAPEC、G20、WTO等の枠組の下での協力も強化していく。地方間協力を促進し、環黄海経済・技術交流会議のような仕組みを向上させ、地方レベルでの様々な形の実務的協力を支援していくことを再度強調した。

我々は、「G20における質の高いインフラ投資に関する原則」を考慮し、国際法を重んじた、地域のコネクティビティ協力の重要性を確認した。我々は日中韓プラス協力、エネルギー、高齢化社会への対応に関する協力について有意義な議論を行った。エネルギーの議論に関しては、成功裏にエネルギーシステムを変革し、エネルギー転換の過程において協力する必要性を強調する一方、世界的には化石燃料が今なお主要な役割を果たしていると認識することが重要である。

我々は、日中韓三国協力事務局がとりまとめた共同研究レポートである「電子商取引における三国協力」の完成を高く評価し、本レポートの推奨に基づき協力していくことに合意した。

我々は、第9回日中韓サミットの議長国において、次回の日中韓経済貿易大臣会合を開催することを決定した。